

桐^きめんえき^りべツド

寝ているときに守ってくれる。
あなただけの名医です。

寝ているときに体温が下がると、
めんえきりやく
免疫力は著しく落ちてしまいます。
桐めんえきべツドはあなたの体温をほどよく保ち、
身体の中にある再生力を整えます。



このような方々が利用されています

- 冷え性・更年期の健康管理をしたい方
- 不眠症・ストレスでお悩みの方
- 高血圧・動脈硬化の気になる方
- 活力・精力減退が気になる方
- 癌治療をされている方
- 糖尿病の方
- 難治性疾患の方

※布団、枕は含まれません。

睡眠中に免疫力を高めることが健康維持には一番重要です。

免疫力を上げるには適度な湿度と熱が必要

疲れていたり病気の人は、夜寝ている間に体温が下がり、それに伴って免疫力が低下します。例えば温泉の様に、ほどよい湿度と熱で体の中まで温めることにより、血液やリンパの流れが良くなるため、自律神経のバランスが整い、免疫力が上がります。

湿熱に最適な素材

桐
36℃で遠赤外線を最も輻射する物質です(鉱石は45℃以上)。多孔質(60%が空気)なので、ほどよい調湿作用があります。快眠に必要な微量の湿度を保ってくれます。

竹丸炭
竹を割らずに丸のまま1000℃で焼きました。竹筒の中の空気がヒーターに暖められ、ほどよく膨張・収縮を繰り返し、睡眠中ベッドの中から天然の遠赤マッサージ効果を作り上げます。

サワラ
桐と一緒に使うことにより、2つの香りのブレンドで快適な眠りを誘います。

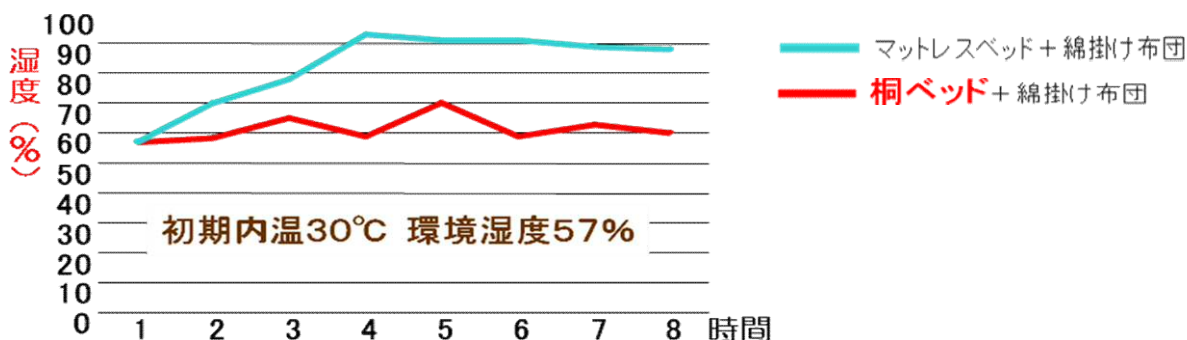
遠赤外線温熱ヒーター
快眠条件は人によって様々です。あなたが一番熟睡できるまろやかな温度に、御自身で調整できます。電磁波がほとんど発生しない安全設計です。

名医から
ひとこと

「温熱がいい!!」 なぜ砂漠に行かないの?

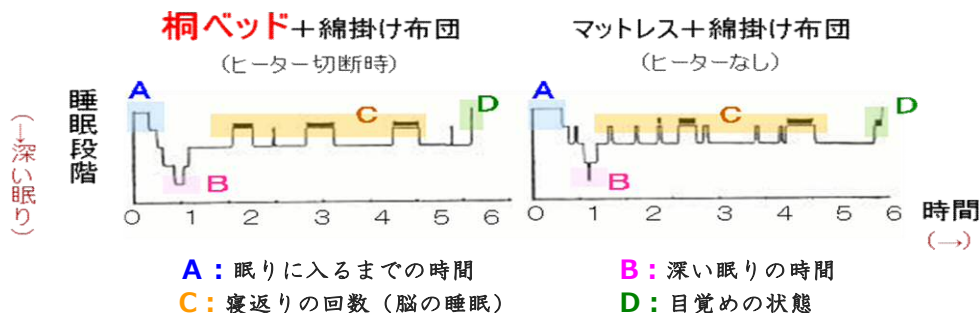
温泉に入ってタオルを肩にベタ。一番気持ちいい瞬間ですね。これは適度な温度と湿度があるため、ジワと身体の深部が温まるからです。筋肉をやわらかくするには、そのまわりの筋膜にほどよい水分を持った熱を与えてあげることが大切です。身体の水分が少なくなると、血液の流れが悪くなり、疲れを感じます。だからお医者さんも「砂漠に行け」とはいわないのです。これを湿熱効果といいます。だから桐めんえきベッドなのです。

【睡眠中の調湿効果】



睡眠中、マットレスと桐の湿度変化を比較した場合、マットレスのベッドでは汗をかくほど湿度が高まっているが、桐のベッドでは調湿効果により、湿度が保たれている。桐のベッドはマットレスのベッドより約30%も湿度が低く、快適な睡眠を作り出した。

【睡眠状態の比較】



マットレスのベッドに比べて、桐ベッドの方が眠りに入るまでの(導眠)時間が短い。・・・A
桐ベッドの方が、深い眠りの時間が長く持続する。・・・B
桐ベッドの方が、脳の睡眠が長くゆったりととれるため、脳が休まる。・・・C
6時間後、桐ベッドはスッキリと目覚める。マットレスではまだ寝足りない。・・・D



桐めんえきベッド

オーダーメイド承ります



ソファベッド



スペースの有効活用



ベッド下収納



ベッド下収納とベッド内部にもスーツケースを収納



オプションで炭が入ります

